



はこだて科学寺子屋〈集中講座〉、**今年も開催。**

「まち」について、「科学」について、  
市民と学生と専門家が一緒になって考え、議論し、学び合う  
“**熱い3日間**” —— あなたも参加してみませんか。

**会場** 公立はこだて  
未来大学4階  
494講義室 (8/6)

函館市  
青年センター2階  
会議室 (8/7.8)

8月 10:00~17:00  
2010  
6日 7日 8日  
金曜日 土曜日 日曜日

- いろんな世代の人と一緒に学びたい!
- 科学技術コミュニケーションについて知りたい!
- 「はこだて国際科学祭」に参加してみたい!
- 函館をもっと元気にしたい!  
—— そんな方々の参加をお待ちしています。

講師:

田柳恵美子 (公立はこだて未来大学特任教授)

渡辺 保史 (北海道大学科学技術コミュニケーター養成プログラム客員准教授)

受講料無料 / 要申込み (定員 30人程度, 先着順)

キャンパス・コンソーシアム函館 単位互換制度対象科目

「科学技術コミュニケーション入門」

<http://www.sciencefestival.jp/>



今年の〈集中講座〉のテーマは、

# 「まち歩き×カガク＝サイエンスクイズラリー」

今年、本格的なまち歩きのフィールドワークに挑戦します。さらには、まち歩きでの発見から、科学にちなんだクイズラリーを作成します。まとめ上げた成果は、8月下旬に開催される「はこだて国際科学祭2010」で実際に行われるサイエンスクイズラリーに活かされます。

## プログラム

### 1日目：講義とディスカッション

専門家が、科学と市民をつなぐコミュニケーションのあり方、科学と地域のあり方、科学とメディアのあり方などについて、さまざまなレクチャーを行うとともに、参加者みんなで議論します。

### 2日目：発見のためのまち歩き

五稜郭地区（スタート：函館市青年センター～ゴール：五稜郭タワーの予定）をデジカメ片手に“ぶらぶら”と歩きながら、ふだんはなにげなく見過ごしていることを発見していきます。これはフィールドワークという、れっきとした社会調査研究の手法です。

### 3日目：企画をまとめるワークショップ

ぶらぶら歩きのフィールドワークで発見したことを持ち寄り、グループに分かれてディスカッションを行い、サイエンスクイズラリーの案を創り上げます。最後にみんなで発表と意見交換を行い、3日間の成果をまとめます。

### 「はこだて国際科学祭2010」への参加

受講者の皆さん（有志の方）には、8月21～29日に開催される「はこだて国際科学祭2010」のスタッフとして、サイエンスクイズラリーなどの運営に実際に参加していただきます。まち歩き→発見→アイデア→企画→さらにその実行まで、トータルにかかわってみませんか。



### ●はこだて科学寺子屋〈集中講座〉は、

金／土／日の週末3日間をかけて実施します。社会人・一般市民の方で平日参加が難しい方には、土／日の2日間参加も可能です。

（詳しくはサイエンス・サポート函館事務局までお問い合わせください）



### ●はこだて科学寺子屋〈集中講座〉は、

社会人・一般市民向けの公開講座であると同時に、キャンパス・コンソーシアム函館・単位互換制度対象科目「科学技術コミュニケーション入門」として開講されます。単位認定には必要な条件を満たしていただく必要があります。

（学生の方々へ：詳しくはサイエンス・サポート事務局にお問い合わせください。単位互換制度を利用しての受講申し込みは、各大学事務局にお問い合わせください。）

### ●社会人・一般市民お申し込み【7月30日締切】

### ●問い合わせ先・お申し込み（社会人・一般市民）

サイエンス・サポート函館事務局（担当：金森）

041-8655 函館市亀田中野町116-2 公立はこだて未来大学内

電子メール：info@sciencefestival.jp

電話：0138-34-6527

<http://www.sciencefestival.jp/>

キャンパス・コンソーシアム函館 単位互換制度対象科目（主管校：公立はこだて未来大学）

印刷仕様  
サイズ：210×297(A4)  
印刷：両面印刷  
紙質：コート紙135kg  
色数：CMYK  
枚数：1000部  
ソフト：Adobe Illustrator10.0  
印刷所：川内印刷所  
D：公立はこだて未来大学  
田村直+木村健一

